

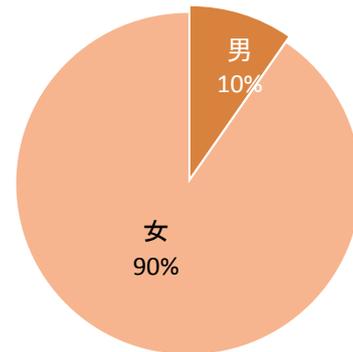
意識調査集計結果(中学生保護者)

◆実施期間 : 平成26年2月12日(水)～ 2月20日(木)
 ◆配付数 : 718件(家庭単位)
 ◆回答数 : 617件(回収率 85.9%)

I 回答者自身について

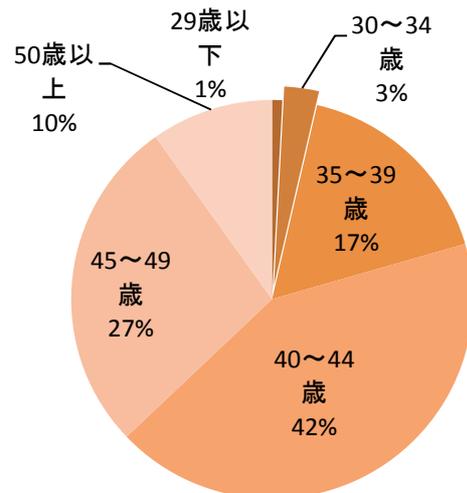
【質問1】 回答者の性別

選択項目	回答数
ア 男	59件
イ 女	554
無回答	4



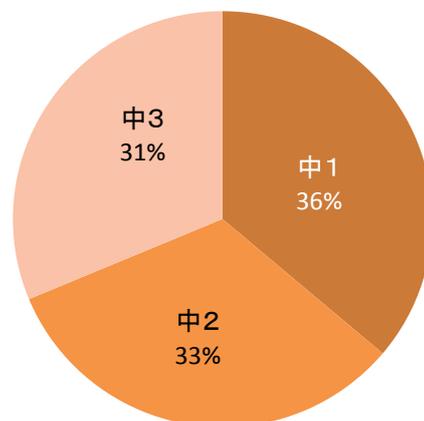
【質問2】 回答者の年代

選択項目	回答数
ア 29歳以下	5件
イ 30～34歳	17
ウ 35～39歳	103
エ 40～44歳	258
オ 45～49歳	166
カ 50歳以上	60
無回答	8



【質問3】 子どもの学年(複数回答あり)

選択項目	回答数
ア 中1	230件
イ 中2	207
ウ 中3	199



Ⅱ 通学路・通学区域について

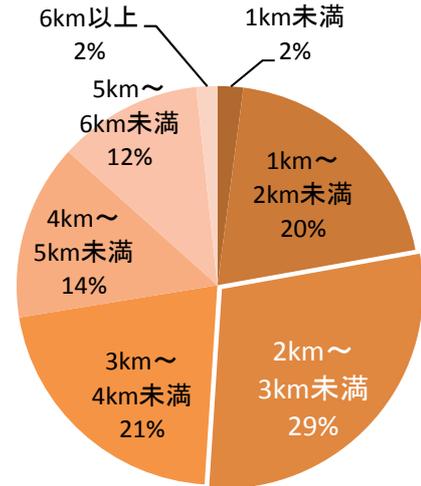
【質問4】現在の通学手段

選択項目	回答数	割合
ア 徒歩	380件	62.1%
イ 自転車	223件	36.4%
ウ その他	9件	1.5%

中学校での「自転車通学」は学校ごとに定められていて一律ではありません。「その他」は、電車利用がありました。

【質問5】「現在の通学距離」と「上限」

選択項目	現在	上限
ア 1km未満	176件	11件
イ 1km～2km未満	199	107
ウ 2km～3km未満	118	154
エ 3km～4km未満	30	114
オ 4km～5km未満	7	76
カ 5km～6km未満	5	62
キ 6km以上	8	9



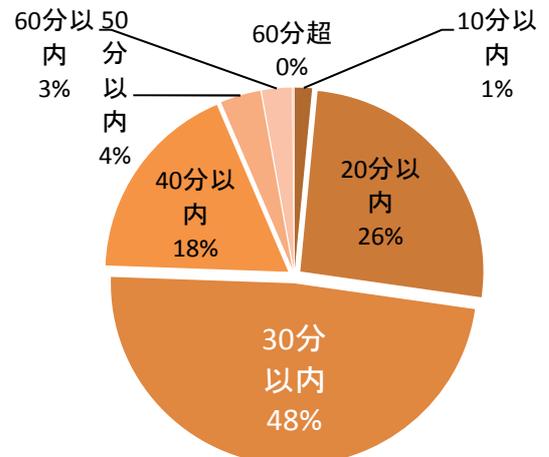
通学距離の上限

【通学手段ごとの分布】

	1k未満	1～2km	2～3km	3～4km	4～5km	4～5km	6km以上
徒歩	10	80	102	59	45	36	2
自転車	1	25	52	54	30	25	2
その他	0	1	0	1	1	1	5

【質問6】「現在の通学時間」と「上限」

選択項目	現在	上限
ア 10分以内	162件	8件
イ 20分以内	313	137
ウ 30分以内	53	257
エ 40分以内	9	96
オ 50分以内	2	19
カ 60分以内	0	14
キ 60分超	0	1



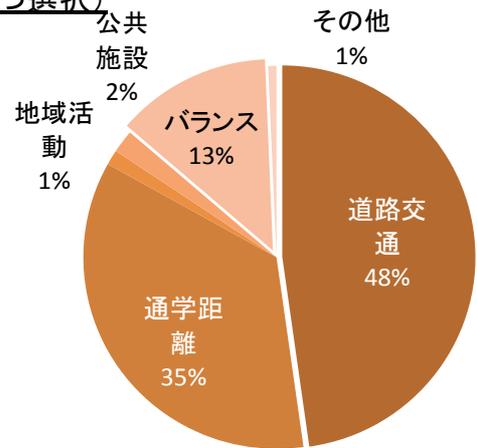
通学時間の上限

【通学手段ごとの分布】

	10分以内	20分以内	30分以内	40分以内	50分以内	60分以内	60分超
徒歩	7	89	159	61	10	10	0
自転車	1	45	92	36	9	4	1
その他	0	2	5	0	0	0	0

【質問7】 通学区域の設定にあたり、優先すべきこと(2つ選択)

- ア 道路交通環境や、災害時を考慮して安全面に配慮する
- イ 学校までの通学距離があまり遠距離にならないよう配慮する
- ウ 自治会や祭りなどの地域活動のつながりに配慮する
- エ 駅など公共的施設の配置に配慮する
- オ 一部に集中しないように、地域間、学校間のバランスに配慮する
- カ その他



「カ その他」の主なもの

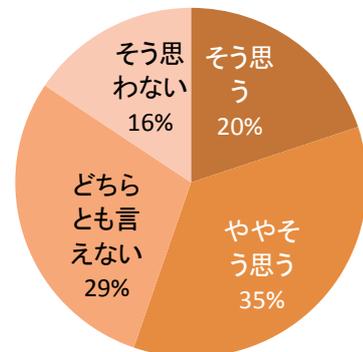
- ・街灯が少ない、薄暗い場所は避ける
- ・帰る方向に生徒数が多いかどうか、人通りの多い所
- ・学校の風紀
- ・学校の面積を広く、ゆとりあるものに、多少の駐車場も出来るとありがたい
- ・生徒数が多すぎず、少なすぎない
- ・民家だけの道路は結構危険なので、コンビニ等がある道路が望ましい。

生徒の通学の安全に関する項目が最も多くなりました。
 問5、問6でたずねた「距離」「時間」に関わらず配慮が必要な事項であることが判ります。
 次に多かったのが「バランス」で、これは自由意見でも各校の配置バランスについて多くの意見をいただいています。

【質問8】 児童・生徒数減少による影響について

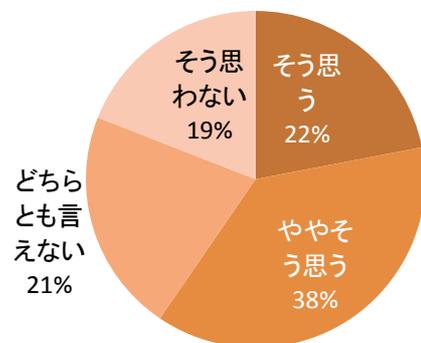
- ① 仲間との交流により切磋琢磨したり、刺激し合う機会が少なく、競争心や社会性が育ち難くなる

そう感じている保護者が過半を占めました。「多いほど良い」ということはありませんが、ある程度の集団が必要だということがうかがえます。



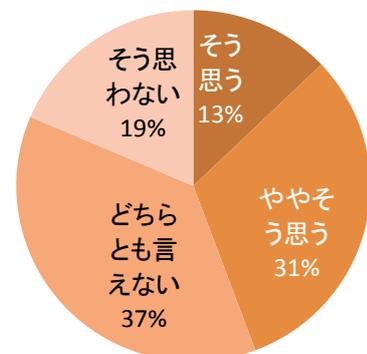
- ② 運動会の種目や音楽の合奏、合唱など、集団での活動への取組にくくなり、迫力にも欠ける

小学校に比べて「感じる」層が多く表れました。種目、行事が高度化し本格的になるためと考えられます。



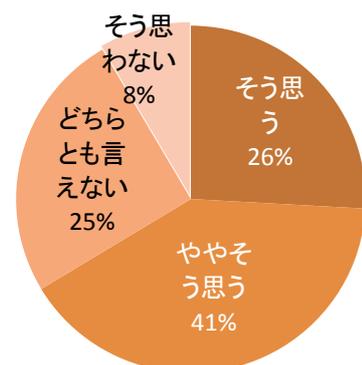
- ③ 多くの友達の見かたや考え方に触れながら学習を進めたりすることがしにくくなる

「取り組み方」「工夫次第」ということでしょうか、「どちらとも言えない」がもっとも多くなりました。



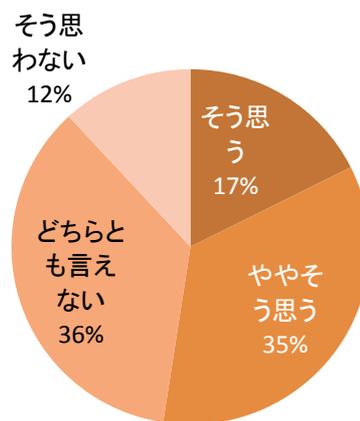
- ④ 限られた集団で育つため、子どもたちの関係や集団の中での役割、位置が固定化される

回答者全体の約2/3が感じている項目となりました。また、「位置、役割の固定化」は、自由意見でも見られています。



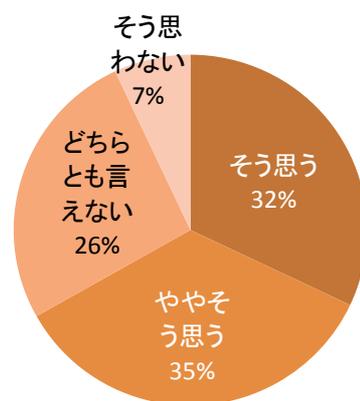
- ⑤ 先生の数が少ないため、校務に追われ子どもたちとふれあう時間が減る

半数強を感じる一方で、「どちらとも言えない」層も多くなりました。教職員からの回答では、感じている層が8割弱に上っており、保護者には実感しにくい部分のようです。



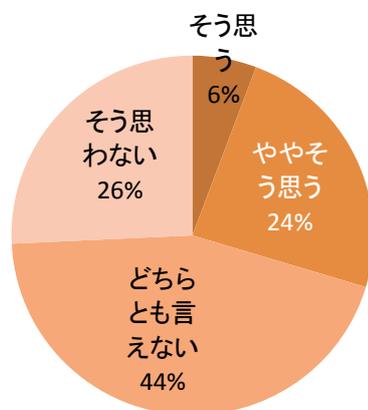
- ⑥ PTAなどの活動で、保護者の役割・負担が増える

約2/3が「負担増」を感じているようです。小学生保護者（約3/4）と比較すると少なくなっています。



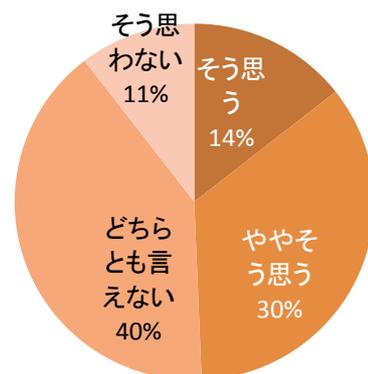
- ⑦ 保護者同士の交流機会が減少し、子育ての意見交換や、情報を得たりすることが難しくなる

「どちらとも言えない」「そう思わない」が7割を占めており、子どもの数との相関は薄いようです。今日はパソコンや携帯電話が普及するなど情報を得る方法がたくさんあるためかもしれません。



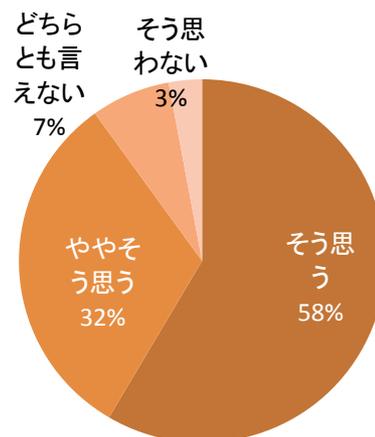
- ⑧ 学級数の減少により先生の数が減るため学校運営が難しくなる

「感じる」層は半数弱です。一方で教職員の回答では、小学校で61%、中学校で77%が「思う」と回答しています。特に、中学校では配置教員数と教科の関係が指摘されています。



- ⑨ 部活動の種類が少なくなったり、活動内容が縮小したりする

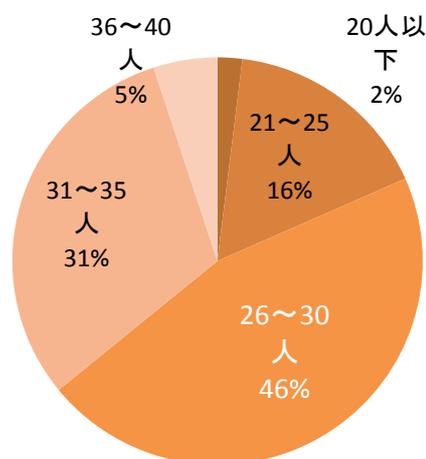
回答者全体の9割が実感している項目となりました。また、自由意見欄でも部活動の種類、人数に関する意見が多く寄せられています。



【質問9】 望ましい1学級あたりの人数

選択項目	回答数
ア 20人以下	12件
イ 21～25人	101
ウ 26～30人	281
エ 31～35人	190
オ 36～40人	31

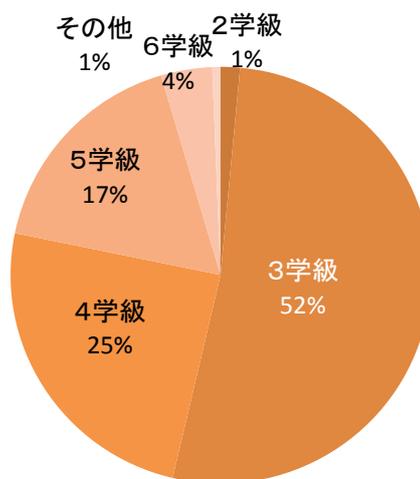
現在の町立中学校の1学級あたりの生徒数は全校を均すと「32人/学級」です。回答と比較すると概ね現在の学級人数規模を望んでいることがわかりました。但し、学級人数規模は学年生徒数により大きく変化する場合があります。



【質問10】 望ましい1学年あたりの学級数

選択項目	回答数
ア 1学級	0件
イ 2学級	9
ウ 3学級	319
エ 4学級	150
オ 5学級	105
カ 6学級	24
キ その他	4

「1学級（単学級）」という回答はなく、「3学級」がもっとも多く、「4学級」がこれに続きます。問9とかけ合えると、一学年あたり100～120名程度がひとつのめやすとなるようです。



【質問11】 【問10】1学年あたり学級数の選択理由(2つ選択)

- ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる
- イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える、相性が合わない場合に環境を変えられる
- ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う機会に恵まれる
- エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大になる
- オ 他の学級との交流や競争で、互いを高めあえる機会がある
- カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる
- キ その他

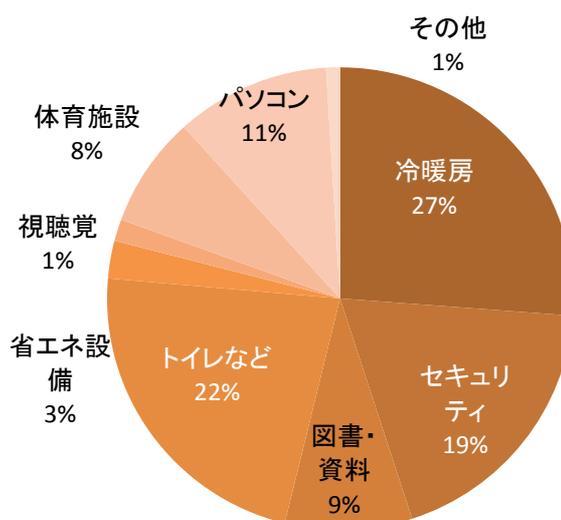
【学級ごとの選択理由(クロス)】

	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級
ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる	3	25	3	1	1
イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える、相性が合わない場合に環境を変えられる	3	206	89	57	17
ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う機会に恵まれる	5	155	56	37	5
エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大になる	1	69	51	43	12
オ 他の学級との交流や競争で、互いを高めあえる機会がある	3	113	43	27	9
カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる	0	32	47	40	5
キ その他	0	5	2	0	0

いずれも「クラス替えによる環境変化」と「いろいろな役割りの経験」を理由としてあげ方が多くなりました。
また、「5学級」以上の回答では、「学校の活気」が理由として挙げられています。

【質問12】 学校の施設・設備のうち、優先して整備した方がよいもの(3つ選択)

選択項目	回答数
ア 冷暖房設備	428件
イ セキュリティ対策	308
ウ 図書・資料	144
エ トイレなど衛生設備	369
オ 省エネ設備	43
カ 視聴覚設備	25
キ 体育施設	127
ク パソコンとネットワーク環境	175
ケ その他	16



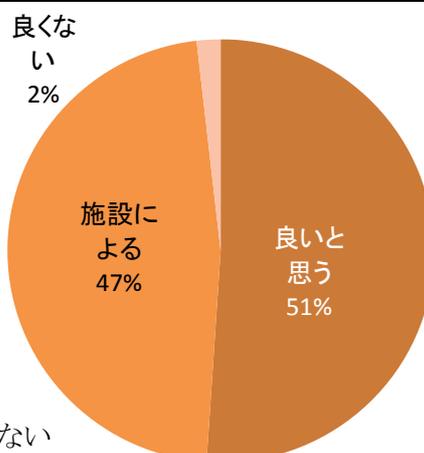
エアコンに対する要望がもっとも多く、トイレ、セキュリティがこれに続きました。

「その他」では、「校舎老朽化対策」「給水機」「特別教室の充実（音楽室、家庭科室、科学実験室などの教材、器具購入等）」などが挙げられました。

IV 地域との連携、共存について

【質問13】 学校と地域で利用される施設との連携・共存

選択項目	回答数
ア 良いと思う	308件
イ 施設による	284
ウ 良くない	11



「ウ よくない」理由の主なもの

安全面

不特定多数が校内に立入るのは安全とはいえない

学校関係者だけなら不安も少ないが、一般の方の出入りでセキュリティが不安

施設管理

学校は学校教育に特化すべきだと思う

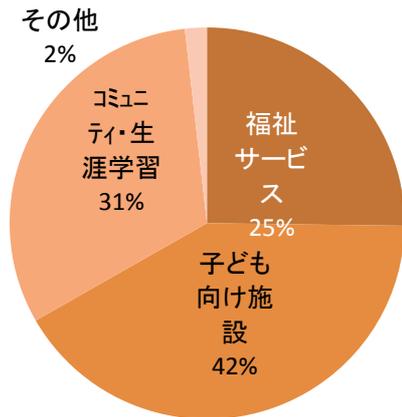
いろいろな人がいると勉強に集中できない。その他の活動は学校外ですれば良い

「施設による」という回答も含めると、多機能化に対する理解は高いようです。「よくない理由」として寄せられた点は、これからの意見交換などにより工夫して解消することで、児童生徒、地域の双方が、より活動しやすい施設として運営できるのではないのでしょうか。

【質問14】 学校に他の施設機能を併設する場合
に考えられるもの

- ア 福祉サービスのための施設
(交流サロン、高齢者施設、障がい者施設 など)
- イ 地域の子どものための施設
(児童館、学童保育、保育園 など)
- ウ 地域のコミュニティや生涯学習のための施設
(公民館、図書館 など)
- エ その他

「エ その他」の主なもの
プール



「福祉サービス」「子ども向け施設」「生涯学習施設」ともに地域における必要性を感じられているようであり、身近な場所での交流とともに、高齢者や子どもの居場所づくりへの期待がうかがえます。

適正配置全般

- 1つの町にたくさんの小中学校は必要ないと思う。いろいろな地域から子どもが集まり交流がある方が多いと思う。(協調性・自主性・仲間意識・学習面において)、現在の宮代のように通学区も希望制でよいと思う。通学路の安全確保が第一。有償でも付き添いが必要と思う。併設は保育園などはやめた方がよいと思う。集中して学習できないと思うので。
- 安全で充実した教育が受けられることを優先する、少人数ならではのメリットやアプローチ方法を考えた指導を考える。学校同士の連携や小中一貫教育なども考えて活気のある活動のできるようにする。施設を併設することにより建物をうまく利用できるようにするがその場合は安全面に十分注意して欲しいです。
- 学区は永久的なものでなく、時代が変わって良いと思います。通学距離が増えてしまう場合、町の現在運行中の循環バスなど利用するのも良いかと。人数によって集約して施設の充実を図れたらよいと思います。
- 学校が老朽化してきているので仕方がないことだと思いますが、通学が大変になったり、子どもに負担がかかるような事は避けて欲しいと思います。
- 学校を1箇所を集めることは学校ごとの特色と目指したはずの宮代と逆行していて場当たりの思ってしまう。通学、勉強は小さな子ほど近距離で少人数が望ましくその他のクラブ活動、運動会などの行事、部活動などにバス等で学校間をつなぎ他校のクラブ、部活に参加可能にし、子ども同士の交流、選択の幅を確保して欲しい。
- 子どもが減少してもなるべく現状維持でいて欲しいが、止むを得ない場合は子どもたちを第一に考えて検討して欲しい。
- 子どもが過ごしやすい環境を考慮してほしい。
- 子どもの人数が多い中で育つ事が、成人するにあたって必要だと思います。協調性に欠けている子どもが多すぎると感じます。
- 自分の子どもの通う学校を残し欲しいと思いつつも、宮代町の小中学校の現状について考えていかなければならないことは皆わかっていると思う。経営コンサルタントや見識者の考えはもっともだと思うが、その前に、実際小中学校に子どもを通わせている保護者、また宮代に実際に暮している人たちの思いを把握して欲しい。把握した上で専門家の意見を参考にして欲しい。今回、この意識調査で私たち保護者の意見を聞く機会を作っていただけたことはよかったです。是非アンケート結果もまとめて知らせて欲しいです。アンケートに記入したとおりにならなくても、私たちの思いを受け止めた上で議論していただき決定したのであればいいと思う。今、何を議論し、いつごろどのような方向に進めたい、などの途中経過を要所要所で知らせてもらうことで距離は随分縮まると思います。
- 生徒の学業、スポーツのモチベーションを高めるためのモデル校を設定し、それを実行するためにはどうするかを人数に落とし込み、ミッションを達成する方法を逆算していくことが重要と考えます。それぞれの学校が具体的にこの学校になりたいというビジョンを持ち、ついていけない子どもの対処も、モデルケースを県内で共有する資料を持つことにより、指導のバリエーションを増やすことが可能になると思います。良い学校に入る、スポーツができるということがすべてではなく、とは言ってもという部分も多くありますが、3~5年でこの学校になるという中期的な計画を前面に押し出し、外部からの地を投入することも視野に入れた再編を熱望します。
- 確かに子どもの数は減っている傾向にあります。しかし、人数が少ないなら、少ないなりに工夫次第でどうにでもなると思います。日本の学校は形式に拘り(そこが良くもあるのですが)柔軟性が欠けています。もっといろいろなやり方があります。どうすれば子どもたちにとって良いのかもっといろいろなやり方を工夫してください。
- 町内では遠すぎて、また、やりたい活動の場が他にあるとなると、今現在では地元(近くにあるところだったり、町内だったり)以外の選択をする方もいるので、そのあたりを汲み取った再編になればと思います。
- 細長い町の形状、20年前とは違う、(子ども)人口の推移予測、現状にとらわれない再編をして欲しい。土地はいくらでもあるのだから、沼地に小学校を建てられる宮代町ならいくらでも再編できる考えをついて欲しい。30年後の宮代のために

- 宮代の小中学校に行ってよかったなあ、ずっと宮代に住んでいよう、そう思ってもらえるような再編、配置をお願いします。
- 昔と今では子どもの人数が大幅に違うので再編するのはいいと思います。
- もし合併するのであれば、通学距離、時間、安全面など、しっかりと検討して欲しい。特に安全面。
- 少子化がすすんでいるので、それも仕方ないかと思います。

学校の配置

- 小学校がそのまま持ち上がりで、他の学校からはほんの少数しかこない。緊張感もなく部活の種類も少ない。もう少し統合するなどして、もっと活気ある中学生活になるとよい。
- 少子化なので小中一貫でも良いかもしれないです。
- 須賀小中のように小中一貫教育にすると長年通いなれた通学路なので徒歩からもし自転車に変更されても安全面から考えると利点が多いように思われますが立地条件を満たすのはなかなか難しいですよ。ね。
- 中学1年の生の親。春日部の中学に通う子の親と友だちなので情報交換すると、学級が5学級、クラブ活動もたくさんあり割合さかん。うちの子は下手をすると幼稚園からずっと一緒に立ち位置が全く変わらず、競争意識も0、小学校→中学校へ全員持ち上がりはやはり問題。
- 百間小から前原中へエスカレーター式に上がるが、高校以降の環境への対応に不安が残る。
- 幼稚園～中学まで同じ仲間と過ごすことが多い宮代町の子は、高校へ行ってからいろいろな人たちと出会い戸惑うことが多いようです。小さいとき守られすぎだと思います。小さいときからいろいろな人とふれあえるよう考えるべきです。中学の部活もやりたいことができない子たちがたくさんいてかわいそうです。何とか伸びたいと思っている芽をつまないでください。
- 中学校は、他校の生徒たちと交じり合う位置に建てて欲しいです。小学校から顔ぶれが変わらないというのは刺激も少なく、競争心も高まることなく成長していくのでは？
- 笠原小学校は百間小学校や東小学校に分散できると思う。学校の校舎も変わっているので町民のための施設として利用するなどして活用すると良い。(再編するならば、東武動物公園を挟んで左右に1校ずつ)
- 学校により生徒数に偏りがあるのは学力等にも差が出るのではないかと考えています。バランスよく編成していただきたい。
- 子ども数が減少し、学校が成り立たない場合は仕方ないと思うが、2学級できるのであれば今のままの環境で良いのでは。通学距離が遠くなることは避けるべきだと思います。
- 子どもたちが安心して生活できる環境を整え、どの学校にも偏りなく学べるような場を是非お願いします。
- 小学校は1校減が適切だと思いますが、中学校は3校のままだと良いと思います。
- 少子化により再編しなければならぬのはわかりますが、たまりにも学校が遠くなると負担が大きくなると思います。
- どこの学校も同じ環境で過ごせるようにして欲しい
- 前原中の所在場所が不合理だと思います。百間小の近くへ移転するなどして、文教施設を集中させて欲しい。
- 宮代町の小中学校の配置は近すぎると思います。姫宮駅周辺住民は小中学校に通うのが大変で同じ宮代町住民なのに不公平差を感じます。
- 宮代町の西側に1校、東側に1校あるとよいかと思います。

通学について

- 子どもの通う中学校では自転車通学の子がとても多いです。徒歩通学の子が少ないということは1人で帰ることが多く、多くのキケンに逢いやすいと思います。遠くから通う子どもの心配だけでなく近くから通う子供たちの事も考えてください。
- 子どもの減少に伴い、学校を統廃合するのは1つの学校の生徒数は増えて良いと思うが、通学距離が遠くなってしまう子どももいるのでそこが問題。
- 子どもの人数が減ったとしても、今まで通りの学区にして欲しいです。通学が不便になったり、災害時は特に心配です。家から近くの学校に通わせたいと思います。
- 子どもの人数が減り、増える見込みもむないようなら再編も必要。毎日通学する所なので遠いと大変。部活もあるので。
- これ以上自宅から学校が遠くなってしまうのは困ります。防犯面がとても心配です。携帯も持てないので帰宅が遅かったり、地震があった後の連絡手段がないので。現状のまががいいです。
- 小学生で通学時間が30分以上になると大変だと思います。
- 小学生は通学距離が長くなるとかわいそうです。(特に低学年)
- 小学校は歩いて通える距離範囲内がよい。中学校は自転車通学可能なら自由に校風で選べるとよい。
- 小学校は重いランドセルを背負って歩いて通学するので遠いのは大変だと思う。街灯や家がない道も多く事故に遭わないかいつも心配しているのに遠くなるとよけい心配になる。中学校でも自転車で通っても暗い、家のない道を通って帰るのは事故に遭わないか心配。
- 小学校は自分の力で歩ける距離が上限になるでしょう。中学校はクラス数が少ないのはあまり好ましくないとします。寄せ集めになるのは止むを得ないのでしょうね。
- 小学校は通学の安全上、家が近い方がいいと思います。中学は自転車でも通えるので1箇所をまとめ部活や学校活動を活気付けたい。
- 小中学校の統廃合に反対です。通学時間が更に長くなり、登下校の安全面が気になります。
- スクールバス(町内循環バス併用)を使い、小中学校をまとめても良いと思います。子どもも安心して通学できるし、また不便で利用者も少ない循環バスも有効利用できると考えます。近隣では循環バスも夜遅くまで走っていることはとても助かりますし、宮代の循環バスは無駄です。(時間も早い時間で終わってしまうことを考え、だれのためのバスなのかを考えて欲しい。)子どものために利用できるバスにしてください。
- スクールバスの運行も考えたほうが良いと思う。(合併するとしたら)
- 生徒数の減少があり仕方ないと思うが、あまり遠いと心配がある(不審者など)
- 中学では自転車通学可なので問題ないが、小学校では通学が遠くなると防犯の面で心配です。ボランティアの方がたくさん充実している地域もあるが、自分の子どもの通っていた地域は全くなかったため、低学年中は下校時毎日迎えに行った。自分の子を守る上では当たり前だが、親の負担も増えた。
- 中学校は自転車通学が可能であるし、学校選択もできるのですくし遠くても通学できると思います。近隣の市町へも通学可能になると部活動の選択の幅がより広がると思います。
- 中学校は部活動等で普段から帰りの時間が遅いので、再編されさらに下校時間が遅くなると事故や事件に巻き込まれる可能性が増えるのではと心配です。
- 通学区域の見直しと安全に通学できる通学路の再確認を是非役場の方々の目と足で見て現状を知っていただきたいと思います。近年、大変交通量が増加しているので危険に思える場所があると思うので、再編をしていただくと良いと思います。お願いします。
- 遠い場合は有料でスクールバスを出せばいいと思う。

- 特に小学校等で遠距離になってしまう児童のためにスクールバスをつくり安心して登校できるように配慮して欲しい。
- 百間中、前原中学区を統合しても良いと思うが、小学生の通学距離に心配はあるが。
- 1学年のクラスが減ると、友達をみつけるのが大変になると思う。通学は毎日のことなので遠いと大変なので学校を減らした場合、スクールバス等があれば良いと思います。
- 今、遠い地域の児童も30分、40分以内に通える範囲内にしてもらえると良い。夏、冬は大変だと思う。親が迎えに来ていた。迎えにこられない児童はかわいそうだった。小中一貫もよし悪しだと思う、慣れあいの環境の中、そのままズルズルと3年間過ぎてしまうイメージです。百間中は適度な刺激があつて良いと思う。
- 遠距離通学にならないことが良い(安全のため)。部活動における保護者の負担が昔より増えている(教員数が少ないのか?)
- 各家庭からほど良い距離に学校が配置されれば子どもたちが学校に行くまで遠くて疲れるということがなくなると思う。
- 学校周辺の環境が良く、部活動に対応できる校庭の広さがあり、子どもたちが通いやすい通学路がある。
- 学校数を減らしてスクールバスを運行すれば良いと思います。
- 学校と自宅の距離が長くなっていく子どもを増やしてはいけない。現在の各学校の場所を変えず、校舎内の教室等を地域や社会に役立つことに使用して明るい学校が望ましい。
- 子どもたちが安全に登校できる距離に学校があると親としても安心して毎日送りだせます。また、伝統ある学校は子どもたちにとっても思い出深く、これからも残していただきたいです。
- 少子化の現状では、学校の統廃合も止むを得ないものと思っています。その際も通学に配慮(遠距離の者のために通学バスを用意するなど)する必要があると思います。法の制約もあるかもしれませんが、隣接市町の学校と相互に通学(学校選択)できる制度も望むところです。
- 人数のことを考えると合併したほうが良いと思いますが、通学時間がかかったり、危険な通学路、周辺環境が良いところはないように思います。現在は車社会なので駐車場のことよ考えると他の施設の併設は十分に考えないと難しいと思います。

学校規模について

- 1学年1クラスになってしまうと子どもも親も身動きがとりづらくなると思うので、他の学校との統合もよいと思います。運営費も削減できると思いますので、その分残った学校への設備を整えることができると思います。
- 1学年あたりの学級数は、小中学校とも3クラスくらいが望ましいと思います。学校まで15分以内の場所を選んで家を購入したのであまり遠くなるのは困る。少人数で先生の目の届く範囲で勉強しているので余り人数が増えても困る。(40)人はNG
- 1学年に小学校は2クラス、中学校は3クラスという環境のなかで育ってきた我が子ですが、昔の大人数、多くのクラスのころよりも一人ひとりに目が行き届いていていじめなどもなくてよいと思います。多人数となるとやはり目の行き届かない子が表れてくるのが心配です。ひだまりサロン、すだちの家のある笠原で育ちましたが、子どもたちにとってよい影響を与えてくれたと思っています。
- 1クラスの人数は30人前後がよいと思います。少ない方が行事などで一人ひとり役割があり無関心ではいけないと思うので。
- 今の中学校は生徒数が少ないので、体育祭などの行事もさびしいものがありますし、何しろ、部活動の選択肢がなく、自分のしたい部活を選ぶことが出来ないのは悲しいことだと思います。
- 各学級数を増やし、学校数を減らしたいのでしょうか?地域色が薄れる感じがします。メリットが感じられないです。

- 学校行事がさびしいので中学は今までのように選択でき、クラスが多いのが良いと思う。
- 競争心を持ちながら、仲間の大切さを学べる場所をつくってほしいです。
- 子どもたちの人数は減ってきてはいるが、1クラスが30人以上になると先生の目も行き届かなくなるので30人以上になるときは3クラスにして少人数のクラスにしてほしいと思います。
- 子どもの数が少なく、部活や体育祭がさびしいので合併は仕方ないと思うが、宮代町はかなり大きく通学が負担にならないか心配です。
- 子どもの数が少なくなると、やはり考えなくてはなりません。少ないところの学校は多い所へ移っていくのでしょうか。
- 子どもの数が減り、現在2～3クラスのみで、学校行事等に活気が少なくなっていると思います。もう1～2クラス増えるところにより子どもたちの競争心や団結心が生まれ心身も育っていくことが出来ると思います。再編となると通学距離が長くなる子どもも出てくるかと思ひます。キケンのにいよう十分な検討が必要かと思ひます。
- 小学校の場合は少人数学習を取り入れることが出来て少ないほうが良い学年もありますが、中学校の場合は1学年のクラス数も4クラス以上あり、なおかつ、2校以上の小学校出身生が進学できた方が良いと思ひます。友人関係にも新しい風が吹いたほうが良いと思ひます。部活動の選択の幅も増えるのももう少し1校あたりの人数を増やしてほしいです。
- 小中学校の再編には賛成です。1学年3クラス以上は必要と思ひます。また、部活動の少なさも改善すべきと思ひます。子どもたちの成長に部活動は絶対必要です。
- 少人数で授業を行っていますが、授業内容についていけない子どもがいることで一人ひとり目の行き届いた環境ではないと感じています。落ちこぼれが出ないよう、1クラスの人数を減らして環境を整えることが正しいといえませんが、何か対策があればと思ひます。
- 少人数の学級の方が生徒一人ひとりに目が行き届き良いと思ひます(受けもちの先生によりますが。)
- 人口を考えると、宮代町では2校くらいが良いのではないかと。地方では中学校が遠いのは当たり前で人数が多いことがこの年齢では必要。
- 生徒が少ないと部活の選択肢が少なくなったり、子ども同士の交流の機会が減ったりいい状態とはいえないので再編する場合は生徒数を良く考えて欲しい。
- 先生方がインフルエンザ等にかかって無理して出勤しなくていいように、数を増やして欲しいと思ひます。
- 先生方の人数が少ないと部活動の顧問の先生が足りず盛り上がらない。先生を増やしてほしい。
- 先生の人数が少なすぎて子どもたち一人ひとりに対してじっくり向き合えていない気がする。良い先生が少ない、こちらから先生を選ぶことは出来ないのと良い先生が来て欲しい。
- 他中学校で8組まであるが、卒業するまで名前も知らない同級生がたくさんいると聞きました。百中は3組しかないから全員が知り合いたいです。
- 中学生で部活は大きな学習の場なのに人数が少ない理由で廃部になるのはやる気がなくなってしまう。他の学校と合同で活動などして欲しい。
- 中学では子どもが少ないため部活動の数も限られてしまうので再編によって部活動も増えれば良いと思ひます。
- 中学では人数が少ないことで部活に活気がなく感じます。部活の数も少ないので選べないですね。先生の数が少ないければ外部コーチを入れてでもしっかり取り組んで欲しい。教えられる先生がいないのも子どもがかわいそうです。基礎すら教えてもらえない、よろしくお祈りします。
- 中学校の人数が少なく、部活動の種類減少や学力にも差が出ると思う。自転車通学できるので多少遠くても本当は大きい学校に通わせたい。

- 昔と違い子どもの人数も減ってきているので、ある程度の人数を確保してもらいたい。

施設・設備について

- 各教室にエアコンを設置すべき。3年生だけというのはおかしい。熱中症の危険をおかしてまでエアコンなしの教室で勉強するというのでしょうか。
- 笠原小の昇降口がそれぞれというのは今の時期風邪、インフルエンザが流行しなくて良いと思うが、造りは機能的でないと思う。学校の数に程よいと思う。
- 近隣(久喜市)では、将来を見据え学校の建替えに後で老人ホームになるようなつくりにしたと聞きました。とてもよい案だと思います。併設で子どもにとっても視野が広がり素敵だと思います。
- 校庭の整備
- 質問14でウの理由として「お年寄り」や「児童」という偏りのない施設が望ましいと思います。
- 質問とは違っていますが、現在の学校のトイレや水道をもう少しきれいにして欲しいと思います。生徒達だけの清掃では学校も年数が経っているので無理なのではと思います。
- 小学校の時に学童に行っていました、人数の割には部屋が狭く、雨の日は外にも出られずかわいそうだなと思っていました。もう少し学校と学童のつながりがよくなればと思います。
- 小中の連携は大切だけど、学生の勉強する所に福祉関係のコミュニケーションの場にするのは賛成できない。
- 須賀小、中学校は無理に2つに分けており効率、コストともに無駄があると思います。1つの大きな校舎、大きなグラウンド、体育館など、共有可能なものを統合することにより良い施設を無駄なく使うことができると思います。
- 耐震をしっかりして欲しい。
- 地域の中に学校があり、開かれた場所として大人になっても入れる場所であって欲しい。先生方は大変かもしれないが子どもたちはいろいろな大人にふれた方がよい。
- 人数が多くなるならば、校庭も広いところが良い。学校までの距離が遠くなると保護者が学校へ行くときにどうしても車になってしまうので、周りに駐車スペースがあるとうれしい。
- のびのびと育つ広さ、死角の少ない設計、笠原のような個性、周りの交通の便
- 福祉サービスを併設することにより、高齢者や障がい者などと触れ合い自分とは異なる様々な人に対する接し方を学び、優しい心を育てることができる。
- 町の行政の都合での子どもへの配慮にかけた併設等はよくないと思う。
- メンテナンスの面を考えると笠原小のつくりは財政の負担になると思う。しかし、建築的な価値と教育的試みを尊重して笠原小は残して欲しい。
- 広範囲になり通学が困難になったり支障をきたす事は避けて欲しい。まずは、現在在住している学校の冷暖房の設備、衛生設備から見直し、学校内の雰囲気明るくなるようにして欲しい。
- トイレが汚いので、きれいにした方がよいと思います。

その他の意見

- いじめに関して先生方の対応が悪い。先生方の教育をもっとしっかりして欲しい。
- 今の時代を考えると、やはり今のままではいけないと思います。子どもたちへの配慮をしながらも早急に見直すべきだと思います。
- 今のままでよいと思う

- 今のままでよいと思う
- 笠原小ができたことで、過去本田に住む人も須賀小・中へ登校していたのが、百間中へいってしまうので人数が少なくなりました。笠原小は町の施設にしてもいいのでは。
- 家族との時間をとるために、土曜日は休みのままがいい。
- 学区内を越えた選択肢はこれからも継続していただきたいです。
- 学区の編成については、選択自由(中学校)で良いのでは。幼・小・中とずっと同じでは交流の意味では欠けてしまう。
- 学校施設と他の施設の併設案はとてもよいと思います。少子高齢化で地域の方と子どもたちのかかわりが少なくなっている中、たくさんの地域の方に見守られながら地域で成長していけたら子どもにとっても親にとってもありがたいことだと思います。
- 〇〇から子どもが小学校〇年生のときに引っ越してきました。須賀小・中学校の学校生活及びイベント(運動会、音楽会等)を見て、生徒の前向きで生き生きとした姿に越してきた1年間は驚いていました。そして、生徒の前向きな姿勢は伝統となり、後輩に受け継がれているのです。スパイラルが上へ上へと進化しています。非常に良い学校のあるべき姿で感じます。このような小中学校が数多くできることが理想だと思います。
- 現状どおりで良いと思います。
- 現状に不満はありません。
- 子育て支援に力を入れて、少子化にならないように県や町に協力してもらおう。
- 子ども達にとって母校がなくなってしまうのはさびしいことなので、町は人・住民を増やす努力をもっとして欲しいと思います。
- 子どもの減少とともに、将来小中学校が減ってしまう可能性があると思われませんが、私自身宮代町内出身なので母校がなくなってしまうのはとても悲しい事だと思います。廃校となってしまうなら学校跡地には関連した施設(建物等)を作ってほしいと思います。
- 実際に小中学校に通っている保護者にこのように意見を聞くのはとても良いことだと思います。「事件は現場で起きている」のだから、でも答えるのは難しかったです。今後どのような選択肢になり、選ぶことを保護者ができるとうれしいです。
- 授業時間の少なさが学力低下につながっているのがよくわかる。
- 授業の自由選択制などもあれば良いと思います。例えば歴史じゃなくて世界史と日本史とか。世界の料理を学ぶとか。全体的にもっと自由になる形の再編が良いと思います。
- 少子化、又高齢化が進むなか、地域でん何か?作り上げていかないとどんどん孤立していくのではないかな。交流の場をつくりたい。
- 中学校で地区役員をやりましたが、朝の声かけ運動のときにAM7:40~8:15の間なので声かけボランティアに代えて実行してもいいと思いますが、時間が長すぎます。先生方でできればやっていただきたいです。
- 中学校は宮代の地理的形から適正と思われる。小学校については確かに人口が減ってきていて再編も必要なのかもしれないが、例えば笠原小では特徴的な建物や教育方針(はだしの教育、自然と共に体験の多い行事など)から町のシンボルにもなっていると思われるので是非残して欲しい。そして、その教育のすばらしさを発信し、宮代町に子育て世代を呼び込んで欲しい。特に道仏の新しい宅地や駅の開発などで人口を増やせる可能性を教育的見地からも探してほしいです。又、新町長は中3生にエアコンと言っていますが、その投資よりも扇風機を増やし、その分のお金を教育環境の充実の方へまわして欲しい。
- 町内の小中学校を統合させるのではなく、子ども自体の人数を増やせるように大きなマンションを建てるなど町は力を注ぐべきだと思います。

- できれば今までどおりに学校に通わせたいです。
- 東小学校と百間中学校も近いうちに廃校になるという話を聞きました。子どもが少なくなり母校がなくなる事を子どもたちもとても悲しんでおります。縮小しても残すことができればとてもうれしいのですか°。
- 部活で他の中学校との練習試合の日程、時間など早めに連絡してもらった方がよいと思う、前日の夜だと用意が忙しいので。(弁当、お金など)
- 宮代町では他の市町村と合併しないと難しいと思う。
- 私は41歳ですが、私が小中のときは今みたいなゲームがあった時代ではないので自分たちで考えながら外で走り回っていたので、現代の子どももそうであって欲しいと思っています。本などで自分の考え方と比べ仲間と意見するのが良いのですが、大人が本を読まなくなっている所以子どもに本のすごさを知って欲しいです。